

第30回記念大会

マーチング・イン・オカヤマ

TOP ステージ開催概要(4月末現在)

1 参加資格

- (1) マーチング・イン・オカヤマ参加に対して手続きを終えていること。

2 構成と編成

(1) 構成

- ① 単一加盟団体による構成。ただし、未就学児は除く

(2) 人数編成

- ①人数及び編成は自由とする。

(3) 楽器編成

- ① 金管楽器のみの編成。
② シンセサイザー、エレクトリックピアノ、エレクトリックギター、エレクトリックベース等の電源を必要とする電子楽器、及びピアノ、オルガン、ハーブシコード、チェレスタ等の重量のある鍵盤楽器は使用不可とする。
その他、類似するものがある場合は、実行委員会に問い合わせること。

3 演技

(1) 演技フロアー

- ① 演技フロアー図は出演者用資料で示します。
② 演技フロアーへの入場は、構成メンバーのみとする。

※正面演技ラインより前方の使用は、使用を禁止する。

(2) 演技演奏時間

- 演技時間は**入退場込み**でトップステージ部門12分(セッティング1分、演技フロア内アップ時間2分、**演技と退場9分**)、**時間厳守**
- 演技フロアには、白線で次の表示をします。(例年に同じ)
 - 縦・横30mの正方形のライン
 - 各15mラインを結ぶ+のライン(太く表示します)
 - 5m間隔の+形のポイントとライン際は|型のポイント
- 指揮台はメイン、サブ(利用希望団体のみ)とも演技ラインから2.5mで固定します。
- 出入り口は、主催者が指示します。8月中にタイムテーブル案と共に提示します。
その他詳しい実施要綱は出演順、リハーサル決定後9月上旬に連絡いたします。

4 審査及び点数配分について

General Effect (50%)		Performance (50%)			
		Music (25%)		Visual (25%)	
General Effect (Music) (25%)	General Effect (Visual) (25%)	Brass Performance (12.5%)	Percussion Performance (12.5%)	Visual Performance (12.5%)	Color Guard Performance (12.5%)

マーチング・イン・オカヤマでは総合得点での表彰の他、キャプション別の表彰を行い、参加団体の活動の励みとしていただくことを目指しています。

各キャプション別表彰と全体評価（点数）をわかりやすく、そして良いバランスで表せる様に、またランキングやレイティングを行う方向性について、各方面からご意見をいただきました。

2018年のMIO トップステージ審査に関しては、上記の配分で行う予定です。

◇クリティークについて

- ・大会終了後、各参加団体とジャッジによるクリティークを約10分程度の時間で実施する。

5 表 彰

*総合得点による、順位を付け、以下の項目について表彰されます。

- (1) 1位 岡山市長賞
- (2) 2位
- (3) 3位
- (4) High Visual 賞(山陽新聞社賞)
- (5) High Brass 賞(山陽放送賞)
- (6) High Percussion 賞(岡山放送賞)
- (7) High Color Guard 賞(テレビせとうち賞)